

感染分子解析学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Mizuta S, Otaki H, Ishikawa T, Makau JN, Yamaguchi T, Fujimoto T, Takakura N, Sakauchi N, Kitamura S, Nono H, Nishi R, Tanaka Y, Takeda K, Nishida N, Watanabe K: Lead Optimization of Influenza Virus RNA Polymerase Inhibitors Targeting PA-PB1 Interaction. *Journal of Medicinal Chemistry* 65(1): 2022. doi: 10.1021/acs.jmedchem.1c015278.039
2. Nakaie M, Katayama F, Nakagaki T, Kawasaki M, Yoshida S, Toriba A, Ogawa K, Nishida N, Nakayama M, Fuchigami T: Synthesis and Characterization of Hydroxyethylamino- and Pyridyl-Substituted 2-Vinyl Chromone Derivatives for Detection of Cerebral Abnormal Prion Protein Deposits. *Chemical & pharmaceutical bulletin* 70(3): 211-219, 2022. doi: 10.1248/cpb.c21-00902. (IF: 1.903)
3. Nakagaki T, Kaneko M, Satoh K, Murai K, Saiki K, Matsumoto G, Ogami-Takamura K, Ikematsu K, Akagi A, Iwasaki Y, Tsurumoto T, Nishida N: Detection of Prions in a Cadaver for Anatomical Practice. *The New England journal of medicine* 386(23): 2245-2246, 2022. doi: 10.1056/NEJMc2204116. (IF: 176.082)
4. Nakaie M, Katayama F, Nakagaki T, Yoshida S, Kawasaki M, Nishi K, Ogawa K, Toriba A, Nishida N, Nakayama M, Fuchigami T: Synthesis and Biological Evaluation of Novel 2-(Benzofuran-2-yl)-chromone Derivatives for In Vivo Imaging of Prion Deposits in the Brain. *ACS infectious diseases* 8(9): 1869-1882, 2022. doi: 10.1021/acsinfectdis.2c00142. (IF: 5.578)
5. Otaki H, Taguchi Y, Nishida N: Conformation-Dependent Influences of Hydrophobic Amino Acids in Two In-Register Parallel β -Sheet Amyloids, an α -Synuclein Amyloid and a Local Structural Model of PrPSc. *ACS Omega* 7(35): 31271-31288, 2022. doi: 10.1021/acsomega.2c03523. (IF: 4.132)

A-b

1. Yamaguchi S, Yoshida M, Horie N, Satoh K, Fukuda Y, Ishizaka S, Ogawa K, Morofuji Y, Hiu T, Izumo T, Kawakami S, Nishida N, Matsuo T: Stem Cell Therapy for Acute/Subacute Ischemic Stroke with a Focus on Intraarterial Stem Cell Transplantation: From Basic Research to Clinical Trials. *Bioengineering* 10(1): 33, 2022. doi: 10.3390/bioengineering10010033. (IF: 5.046)
2. Nakaie M, Katayama F, Nakagaki T, Yoshida S, Kawasaki M, Nishi K, Ogawa K, Toriba A, Nishida N, Nakayama M, Fuchigami T.: Synthesis and Biological Evaluation of Novel 2-(Benzofuran-2-yl)-chromone Derivatives for In Vivo Imaging of Prion Deposits in the Brain. *ACS Infect Dis.* 8(9): 2022. doi: 10.1021/acsinfectdis.2c00142.. (IF: 5.578)

B 邦文

B-e-1

1. 金子美穂、中垣岳大、佐藤克也、西田教行：PML治療薬スクリーニング系の構築を目指した発光タグ発現 JCウイルスの作製. *神経感染症学会* 27(2): 214, 2022.
2. 中垣岳大、金子美穂、佐藤克也、赤木明生、岩崎 靖、西田教行：解剖実習御遺体のプリオンスクリーニング. *神経感染症学会* 27(2): 230, 2022.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	2	0	0	7

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
西田教行・教授	理事	アジア太平洋プリオン研究会
西田教行・教授	評議員	日本神経感染症学会
中垣岳大・准教授	第69回 ウイルス学会学術集会 プログラム委員	日本ウイルス学会
中垣岳大・准教授	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班 班員	プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究班

金子美穂・助教	第69回 ウイルス学会学術集会 プログラム委員	日本ウイルス学会
金子美穂・助教	会計監査	ウイルス性下痢症研究会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
西田教行・教授	日本学術振興会 科学研究費助成事業	代表	基盤研究 (B) 「プリオン病発症に関わるミクログリア制御機構の解明」
中垣岳大・准教授	公益財団法人 MSD生命科学財団	代表	研究助成「プリオン病スクリーニング法の確立」
中垣岳大・准教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究 (C) 「ヒト孤発性プリオン多様性の検証」
中垣岳大・准教授	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業）プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究
西田教行・教授	株式会社 Santa Mineral	CAC-717を用いたプリオン除染の基礎研究計画	
西田教行・教授	国立大学法人東海国立大学機構	新型コロナウイルスを阻害する新規化合物探索	
西田教行・教授	国立大学法人京都大学	iPS細胞を用いたプリオン病関連研究	
西田教行・教授	ViSpot株式会社	医薬品のウイルス安全性評価試験に関する基盤研究	

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
西田教行・教授	洗浄殺菌方法	2018年7月9日	2019年10月25日	特許第6605083号
西田教行・教授	キノリノン化合物および抗RNAウイルス治療薬	2018年3月30日	2022年4月20日	特許第7061394号
西田教行・教授	プリオン病治療薬	2019年9月20日	出願中	特願2020-549100
西田教行・教授 中垣岳大・准教授	異常型タンパク質の凝集を伴う神経変性疾患における異常型タンパク質を検出する方法および異常型タンパク質の凝集を伴う神経変性疾患の診断を補助する方法	2022年8月17日	出願中	特願2022-130196
西田教行・教授 中垣岳大・准教授	経皮吸収型貼付剤	2022年11月10日	出願中	PCT/JP2022/041928

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
西田教行・教授	非常勤講師（獣疫学）	東京大学農学部
中垣岳大・准教授	非常勤講師（微生物学）	長崎玉成高等学校 衛生看護科

トッドサンダース・ 助教	非常勤講師 (Englishi Communication I) (Englishi Communication II) (Travel Englishi) (Englishi Everyday Life)	長崎純心大学
-----------------	--	--------

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
中垣岳大・准教授	解剖遺体からプリオン病原体	長崎新聞	2022年6月24日	解剖実習ご遺体からプリオン病未診断例を発見した。世界初ということで報道された。

学術賞受賞

氏名・職	賞 の 名 称	授与機関名	授賞理由、研究内容等
金子美穂・助教	最優秀口演賞 (基礎・臨床研究部門)	日本神経感染症学会	有効な治療法が確立していない進行性多巣性白質脳症 (PML) の原因となるJCポリオーマウイルスのゲノムに発光タグを挿入した組換えウイルスを作製したことを報告した。この研究成果は同ウイルスに対する薬剤スクリーニング系の構築に寄与すると考えられる。